

会議録

会議の名称	平成23年度 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成23年9月26日（月曜日） 午後3時00分から午後5時00分まで
開催場所	西東京市 保谷庁舎1階 会議室
出席者	委員：赤澤委員長、中平副委員長、仲川委員、谷関委員、西田委員、古谷委員 事務局：林文化振興課文化振興係長、渡部文化振興課文化振興係主任 支援業者：小野崎、小松、室井（記録）（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
議題	1：委員の変更について（報告） 2：第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 3：パブリックコメントの結果について 4：計画素案における意見交換について 5：その他
会議資料の名称	1. 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 2. パブリックコメントにおける意見と回答案 3. （仮称）西東京市文化芸術振興計画（素案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録

会議内容

開会

副委員長：

本委員会に欠席した委員は4名であり、定足数を満たしているので、議事を進めることとする。

議題1 委員の変更について（報告）

副委員長から高澤委員の辞任、後任は決定後通知することについて説明

議題2 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

副委員長から資料1に基づき説明

委員各位より承認された。

議題3 パブリックコメントの結果について

事務局から資料2に基づき説明

（委員より意見）

（パブリックコメントについて）

- ・ 本委員会の資料2は、情報公開の予定があるか。
- ・ 本委員会は、パブリックコメントに対する市の回答内容に、不備がないかを確認する場所であると認識している。計画案の修正については、今後の推進委員会で議論が必要だと思う。
- ・ この後、計画の素案から計画にする作業の中で、本委員会の委員意見を、どのように集約する予定か。

（各項目の回答について）

- ・ パブリックコメントに対する回答を、もう少し具体的にできないか。
- ・ 回答として「検討する」とあるのは、何を誰が検討するのか。例えば、No32の財政基盤の整備は、誰が検討するのか。
- ・ No6 の意見に対して、指定管理者制度で運営されている施設は何かという回答がない。
- ・ 本計画では、文化芸術関連施設が今後どうなっていくのかがわからない。「公共施設の適正配置等に関する基本計画（素案）」でもわかりにくい。こういった施設の具体的な進行管理を、どのような庁内調整を図って進められるのか。
- ・ 市民会館の改修等に期待している人は多いと思う。
- ・ 計画の目玉となる施策がないという意見は、どのように計画に反映されるのか。

（文化ボランティアについて）

- ・ 「文化ボランティア」について、わかりやすい説明が欲しい。文化という言葉がついているだけに、文化の専門家を派遣する制度ではないかと誤解を招いてしまう。素案の40ページに注釈をつけたりすると良いのではないか。
- ・ 現在実施している「音楽ボランティア」は音楽家を派遣する制度であり、文化ボ

ランティアを説明するものではないと思う。

- ・ 「文化ボランティア」には、芸術家の派遣と市民ボランティアの両方が入るのではないか。

○事務局：

(パブリックコメントについて)

- ・ 本委員会の資料は両庁舎の情報公開コーナーに設置するので、閲覧可能である。
- ・ 本委員会では、今回のパブリックコメントに寄せられたご意見に対する回答を公表する前に、ご意見と回答、及びその趣旨を推進委員と共有し、内容を確認していただくために、案としてお示しした。今回委員会から出された意見について再考し、庁内検討会に諮った後、10月15日に公表を予定している。
- ・ 今回は委員のご欠席も多いので、今日伺う意見の他、本回答についてあらためてご意見がある場合は、9月末まで受け付けたいと思う。また、パブリックコメントの結果を受けて、計画案として10月の委員会で提案をする際に、計画における委員のご意見をあらためて伺う予定である。

(各項目の回答について)

- ・ 今後、各施策の「推進する取組」を取り組む上で、具体的にしていきたいと考えている。
- ・ 各回答における「検討」とは、市が計画の進行管理を図る上で、本推進委員会のご意見を参考として、庁内検討会で調整を図るなど、課題における情報を共有しながら進めるものと認識している。
- ・ 指定管理者制度で運営されている施設は、計画素案では「その他公共施設」において言及していたことをNo.6の回答に追記する。
- ・ 文化芸術関連施設等を有効に活用することで、本計画の施策の目的を達成することができるものが多くあるので、各取組の進行管理を図る際に、あがってきた施設関連の課題について、委員のご意見や評価を参考として、庁内の調整を図っていくものと考えている。
- ・ 本計画素案の作成にあたっては、昨年実施した市民意向調査等でいただいたご意見を基に、3月に本委員会からいただいた提言が土台になっている。提言では、目指すべき姿へのアプローチ手段として、目玉となる施策の実施ではなく、様々な施策を展開することで市民の文化芸術活動の環境を整えることが必要として、各種ご提案をいただいたかと思う。今後、進行管理を図る上で、1つ1つの施策をゆくゆくは目玉となる取組につなげていきたいと考えている。

(文化ボランティアについて)

- ・ 文化ボランティアについては、昨年委員会からいただいた提言を踏まえた内容を施策の説明としている。次年度以降の検討のために、幅を持たせた意味の語句の説明としたいと思う。

議題4 計画素案における意見交換について

事務局から資料3に基づき説明

(委員より意見)

- ・ 最終計画案をまとめるのは、いつ頃になるのか。
- ・ 計画書を作って市民に公開して終わりではなく、「検討する」「調査する」としておき、計画推進中も市民から意見を引き出すと良い。
- ・ 文化芸術振興条例の第 5、6、7 条にあるように、市民の意見を反映させた方が良い。条例に沿ったかたちで検討すべきではないか。
- ・ 本計画は 7 年計画で、前期に土台を作り、中期に予算の優先順位を踏まえて具体的に推進し、後期に花を開かすというイメージである。課題、目指すべき姿は良いが、施策が弱いと感じる。
- ・ 前回も提案した「芸術月間」の設定について詳細に検討してきたので紹介したい。1 案は従来 of 西東京～の月間を発展させたものを、2 案としてはかなりトーンダウンし、週間のものを 1 年目、2 年目、3 年目と同じサイクルでやっていくイメージである。フレッシュコンサート、こもれびホール、市、文化振興会（又は実行委員会）の 3 者が共催する。少額予算で実施することを想定している。
- ・ 次回はもう少し具体的なアイデアを出しても良いのか。

事務局：

- ・ 計画の最終案の確認は1月を予定しているが、各施策における調整を図るため、10月の委員会では、ほぼ確定内容で計画案を提案したいと考えている。
- ・ 計画期間中も素案に記述したように、進行管理への市民参加を推進したいと考えている。
- ・ 昨年の市民意向調査では、イベントを望む声が多くあったが、市が実施しているイベントの他、市民や活動団体等が自主的に行っているイベントも様々ある。次年度以降の本委員会では、こうした活動実績や市民ニーズの調査等を行い、その内容を精査しながら、本計画に必要な事業は何か、施策を検討する必要があるかなどのご意見をいただきながら、進行管理を図っていくこととなる。個別事業に特化した議論は、計画の進行管理を図る上で重要なことと思うので、芸術月間のアイデアは、その参考とさせていただきたい。
- ・ 次回の推進委員会では、今後どのように進行管理を図るかについて、ご意見をいただけるよう、議題を設けたい。

議題5 その他

閉会